

首都圏く山口

ひと物語

▼▼29

電話とコンピューターをつなぎ、電話をかけてきた相手の情報を画面上に自動表示させるなどして電話対応の質を高める「オフィスCTIシステム」。市場の発展を黒子として支え続けてきた企業が自社ブランド製品を開発し、表舞台に名乗りを上げた。商品名は「エクステンションパワ―」。下関市出身の中西俊光社長が率いるトランス・アーキテクトの商品だ。

トランス・アーキテクト社長

中西俊光さん

電話交換で新製品

技術力でシェア1位を



なかにし・としみつ 下関市立向洋中学校、下関商業高校、専門学校「HAL大阪」卒。2006年にトランス・アーキテクトを設立し社長に就任。34歳。

次の目標は自主事業の開発だ。「創業から10年間は受託開発で会社の名前を表に出さずにやってきた。次の10年でトランスといえはこれだよねと言われる商品を作れば」。10周年を迎える2016年は技術力を武器に新たなステージへ挑戦する年になりそうだ。

(第4日曜日掲載)

サーバー3種に対応する。代に流行していた家庭用ゲームソフト。仕組みを知ろうとする商品は他にない。受託開発で培った技術力でシェア1位を目指す。

コンピューターに興味を持ったきっかけは、中学生時学校「HAL大阪」で在学中から大手外資系企業の開発チームに参加するなどして腕を磨き、「4千人中1番」の成績で卒業。新卒で入社したインターネット通信教育を手掛けるベンチャー企業では1億6千万円の売り上げを計上するまでに成長した。社員10人は全員が開発で担当した。

家に帰れない日々が続く大変な仕事だったが「自分の技術が通用すると確認できた」。

2006年に独立。ウェブシステムの受託開発を主戦場に一度も赤字を出すことなく期を重ね、2014年度には1億6千万円の売り上げを計上するまでに成長した。社員10人は全員が開発で担当した。

岩国市周東町瀬越の旭酒造(桜井博志社長)とシェイ

スネット(大阪市)は20日、

博多―新大阪間で運行

を始めた人気アニメ

発表した。

作品の中で「瀬越」が登場するシーンがあることなどから、ゆかりのある

「500 TYPE E

を23日午後1時半〜4時半、山口市秋穂二島の県セ

ミナーパークで開く。

11月の過労死等防止啓発

録

ゆ

た